

日本原子力学会 核燃料部会  
令和3年度第四回運営小委員会議事録

日時 : 令和4年2月18日(金) 13:30~16:00 於 WEB会議(Webex)

出席者: 加藤部会長, 大江副部会長, 佐藤副部会長, 阿部委員, 宇田川委員, 内川委員, 宇埜委員, 大谷委員, 大堀委員, 川西委員, 黒崎委員, 澤委員, 篠原委員, 園田委員, 高田委員, 竹野委員, 片山様(谷口委員代理), 橋爪委員, 樋口委員, 松永委員, 山内委員, 渡部委員, 尾形様(説明者), 尾家(記)

## 議事

### 1. 前回議事録等の確認(資料1)

尾家から, 前回(令和3年度第三回)運営小委員会議事録を紹介した。また, 事前にメールにて確認済みである旨紹介し, 了承された。

### 2. 令和3年度収支実績と令和4年度予算案(資料2)

尾家から, 令和3年度の収支実績および令和4年度予算案および執行状況について紹介した。

次年度予算要求において学会事務局からコメントがあり, 備考欄の記載等を修正して提出している旨を周知した。

### 3. 令和4年度核燃料部会業務分担について(資料3)

令和4年度の業務分担として, 大江副部会長に代わり尾形氏を次期副部会長候補として新任すること, 加藤部会長および佐藤副部会長を再任することを承認した。また, 部会長等選任ルールについても承認し, いずれも3月の全体会議で審議することとした。

また, 大堀委員から川本委員に交代することを部会審議にかけることを承認した。(審議期間: 2/18~3/4)

### 4. 核燃料部会・部会賞(学会講演賞)について(資料4)

樋口委員から, 2022年春の年会の大会学会講演賞の募集状況について報告された。また, 2021年度奨励賞の応募者がいなかったことを踏まえて, 企画小委で募集・周知方法について検討していることの紹介があった。

### 5. 企画小委員会の概要について(資料5)

佐藤副部会長から, 2月10日に開催された企画小委員会の紹介があった。核燃料企画小委員会のメンバー交代, 2022年春の年会企画セッション, 2022年度夏期セミナーの計画について議論されたことの紹介があった。(詳細割愛)

### 6. 2022年春の年会における企画セッションについて(資料6)

樋口委員より, 2022年春の年会の企画セッションの準備状況の紹介があっ

た。計算科学技術部会と調整した結果、春の年会において計算科学技術部会との合同セッションが実現したこと、予稿提出完了したことの状況報告があった。

#### 7. 夏期セミナーについて（資料7）

高田委員より、2022年度の夏期セミナーの検討状況について報告され、オンライン開催とすることを承認した。

部会長から、夏期セミナーを通じて核燃料部会員を増やすことへの期待が述べられ、引き続き企画小委で議論していくこととした。

#### 8. 核燃料部会全体会議の準備について（資料8）

尾家より、3/16(水)に開催する全体会議の資料案を紹介した。

夏期セミナーの実施時期は未定であり、全体会議までに夏期セミナー担当にて実施日の目安を提示し、資料に反映することとした。

また、副部会長の交代タイミング（年度末）と、代議員、部会等運営委員の職務の交代タイミングとが一致していないことから、副部会長交代の際に手続き上の不備が生じないようにする必要がある。このため、部会長、副部会長、庶務幹事にて職務の分担を検討し、全体会議資料案としてメール審議することとした。

#### 9. 核燃料部会報No.57-1について（資料9）

竹野委員より、2022年5~6月発行予定の核燃料部会報 No.57-2の進捗について紹介された。3月のATFワークショップ、春の企画セッション、IAEA TWGFPT等の記事を記載する方向で調整した。また、国際交流ニュースの執筆候補者が見つかっておらず、記載有無も含めて引き続きして検討いくこととした。

#### 10. 核燃料部会のウィークリーウェビナーの提案について（資料10）

部会等運営委員会の千葉委員長から各部会に対してウィークリーウェビナーの協力依頼があり、具体的なテーマ選定は現時点では決めかねるものの、協力可否については「可」と回答することで承認した。

本件の今後の対応については、今後、国内企画担当を中心に企画小委で検討していくこととした。

#### 11. ATFワークショップの開催について（資料11）

川西委員より、3/11に開催される東京大学・JAEA主催のワークショップについて紹介があった。また、本委員の所属機関を通じて業界関係者の参加登録を募る旨も説明がなされた。

本ワークショップに関して、核燃料部会のメーリングリストを用いて開催を周知することについて了承した。

#### 12. TopFuel 2022のProgramme Committee推薦について（資料12）

佐藤副部会長より、TopFuel2022について紹介があった。日本側からANSに

対して Programme Committee 推薦が必要であり、前回 TopFuel2021 では GNF-J、MNF 両社から 1 名ずつ選出していることから、佐藤副部長、GNF-J および MNF で、前回までの経緯も含めて確認・調整することとした。

1 3. PBNC2022 技術プログラム委員について (資料 13)

尾家より、PBNC2022 技術プログラム委員として加藤部会長名で登録していること、具体的な論文レビュー等の活動が発生した際には部会員の中で対応していく体制とすることを報告した。

1 4. IAEA の TWGFPT ご報告 (資料 14)

尾形様より、IAEA の TWGFPT の活動状況について報告がなされた。

1 5. その他

(1) 標準委員会炉心燃料分科会からの提案

炉心燃料分科会の幹事を務める黒崎委員より、2022 年秋の大会における核燃料部会の企画セッションテーマの候補として、炉心燃料分科会活動紹介(標準委員会テクニカルレポート、先行照射試験 WG、事故耐性燃料 WG の活動紹介)が提案された。

本内容は、核燃料部会と親和性の高いテーマであり、今後のテーマ候補とすることを了承した。

他方で、2022 年春の年会では、計算科学技術部会との合同セッションを扱うこととしており、今回提案のあった企画セッションの実施時期については、今後企画小委で議論していくこととし、次回企画小委に黒崎委員も参加することとした。

(2) 次回運営小委員会について

次回の運営小委員会は、令和 4 年 4 月 27 日(水)13 時 30 分から、開催することとした。

以 上